

シリーズ:田中昌人初代所長の没後20年を
研究所の更なる進展とするために

その2 発達過程をとらえる基本概念としての 田中昌人による「可逆操作」の提起

——「可逆操作」概念の向こうにあるもの・
その先にあるもの(学童期の研究へ)——

講師

近藤龍彰さん

(富山大学)

中村隆一さん

(人間発達研究所所長)



日程

2024年12月14日(土)
9時30分～12時

開催形態

オンライン(ZOOMライブ配信)と録画配信

参加費

一般 2,000円 / 会員 1,300円 / 25歳以下会員 500円
※1998年4月2日以降生まれの会員

申込み

研究所HPのリンクまたは、右のQRコードより→



近藤龍彰さん プロフィール

大阪府出身、富山大学教育学部講師

神戸大学大学院修了後、2016年より現職

現在、同じ年代の若手研究者とともに、発達を「思想」として捉え直し、

その意義と応用を考えていくプロジェクトを展開しており、

『発達』(ミネルヴァ書房)に連載「対話で紡ぐ、思想としての発達」を共同執筆中

中村隆一さん プロフィール

兵庫県生まれ、人間発達研究所所長

1973年京都大学入学。大学卒業後、滋賀県大津市役所発達相談員。大津市役所退職後、

2006年より2020年まで立命館大学教授

大津市立やまびこ支援センター発達相談員

故田中昌人・杉恵両氏の発達研究・発達保障論関係業績・

資料保存プロジェクト責任者。

主催

お問い合わせ

人間発達研究所

電話 077-524-9387

メールアドレス j-ih63su@j-ihd.com